

# 地学オリンピック支援委員会 第7回議事録

2013年5月31日  
委員長 田中 義洋

期 日：2013年5月19日（日）16：00 - 17：00

場 所：幕張メッセ国際会議場

出席者：田中 川村 小泉 久田 渡来 （出席者5名、委任状3名提出で委員会は成立）

欠席者：香束 平田

## 議 題

1. 第5回日本地学オリンピック予選の試験問題評価報告
2. 第7回国際地学オリンピック日本代表最終選抜実施報告
3. 第10回国際地学オリンピック三重大会の進捗状況報告
4. 今後の活動計画

## 詳 細

### 1. 第5回日本地学オリンピック予選の試験問題評価報告

本委員会では、2013年1月12日～4月30日の期間に、委員会やMLを通じで、試験問題の評価、ならびに次回以降の応募者拡大に関する意見交換を行った。その内容をもとに、2013年5月19日に実施されたNPO法人地学オリンピック日本委員会社員総会に、試験問題の評価報告と要望書を提出した。

#### 1) 第5回日本地学オリンピック予選の試験問題評価と要望（別紙参照）

詳細は別紙参照のこと。本委員会では、次回以降も試験問題の評価を行い、日本地学オリンピック予選の作問活動を支援していく予定である。

#### 2) 広報活動

第6回委員会時(2013年1月12日実施)に提案された日本地学オリンピックのキャラクターデザイン募集に関しては、現在、第6回日本地学オリンピック予選時に募集を募る方向で調整が進んでいる。募集や審査は本委員会が全面的に支援する。

### 2. 第7回国際地学オリンピック日本代表最終選抜実施報告

国際大会での試験問題翻訳が段階的になくなることを受け、今回から日本代表選抜方法が変更となった。これまでは日本地学オリンピック予選の合格者から、本選時に日本代表4名を決定していた。これに対し、今回からは、本選の成績上位者10名により最終選抜が実施されることとなった。久田理事から、2013年5月11日～12日に最終選抜が行われたこと、筆記試験・天文実技試験・集団討論・面接がおもに英語で実施され、第7回国際地学オリンピックインド大会の日本代表4名が決定したことの報告があった。

なお、インド大会はインド南部のマイソールにて実施予定で、日本選手団は、9月10日に出国し、17日に帰国予定である。大会に関する情報は、専用HP (<http://ieso2013.webs.com/>) で

閲覧することができる。

### 3. 第10回国際地学オリンピック三重大会の進捗状況報告

2016年に開催予定の第10回国際地学オリンピック三重大会に関して、久田理事より進捗状況の報告がなされた。大きな動きとしては、6月に組織委員会が発足予定で、NPO法人地学オリンピック日本委員会では税制優遇措置が可能な認定NPO法人化を目指し、友の会が発会、会員募集が開始されたとのこと。

本委員会では、友の会の広報活動に協力していくことを確認した。会員候補は教育関係者や博物館イベントへの参加者が想定され、博物館との連携を進めていくことが必要である。さらに、会員特典の充実は最優先課題と考えられる。具体的な支援案として、中・高校生向けの講演会への派遣業務支援や付加価値のあるグッズ考案、博物館とのタイアップなどの意見が出された。

### 4. 今後の活動計画

#### 1) 地質情報展での紹介ポスター展示について

地質情報展の地質学会ブースに加え、「小さな科学者のつどい」会場でもポスター展示を行えるように準備することを確認した。地質情報展ではA0版3枚程度を展示し、小さな科学者のつどい会場では、その内容を集約し、A0版1枚程度のポスターを作成予定で、チラシや過去問を配布する方針を決めた。

#### 2) 地学オリンピック支援委員会の委員増員について

本委員会の体制が整う中、三重大会開催が決定し、支援内容もさらに増加することが予想される。さらに、委員会の継続的な活動を視野に入れ、若手委員の登用を希望する意見が出された。今後、人選を進めていく予定である。

#### 3) 次回委員会の開催に日程について

2014年1月の第2週（土）に、日本地質学会事務局にて実施予定。

以上